

加藤学園高等学校で進学説明会

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、6月14日（木）、加藤学園高等学校（沼津市）において行われた、大学等による「学校説明会」で、防大・防医大の説明を行った。

これは、学校側から防衛大学校、防衛医科大学校医学科及び同看護学科に興味を持っている生徒と保護者に対して、各学校の特色などを紹介してほしいとの依頼を受けたことから実施したものの、各大学校における教育の概要やカリキュラム、学校内での生活、各種クラブ活動の内容のほか、入校中に学生に対して支給される学生手当、卒業後に勤務する自衛隊の組織・任務などを紹介し、防大生や防医大生となる魅力について理解を深めてもらった。

生徒からは、学校の雰囲気や生活、クラブ活動について質問があり、広報官が自らの経験談を交えてその一端を紹介し、生徒たちは進学後に描く未来の姿に思いを馳せていた。

静岡地本は、今後も各学校との連携を密にし、生徒の個別相談に対しても真摯に対応するとともに、受験生の目線に立った各種目の魅力を伝え、志願者の確保に努めていく。



自衛隊・警察・消防・海保合同ガイダンスで自衛隊の魅力をPR

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は7月7日（土）と8日（日）、静岡県庁別館（静岡市）において、公安系4機関が合同で開催した「合同採用ガイダンス in 静岡」に参加した。

このガイダンスには、自衛隊、静岡県警察、静岡市消防局、清水海上保安部が参加し、各機関の概要説明のほか、それぞれ個別にブースを設けて業務内容・採用制度の説明や質疑応答などを実施した。

自衛隊ブースでは静岡地本が制度説明を行ったほか、陸海空自衛隊の部隊に勤務する男性及び女性自衛官も駆け付け、自らの体験談を披露し、質疑応答を行うなど、これから就職を予定している高校生等に自衛官のやりがいを語り、自衛隊を正しく理解してもらおうとPRを行った。

また、女性の訪問者も多く見られ、「女性でも男性並みの体力が求められるのか」との質問が寄せられ、女性隊員が自らの経験談を語り、女性でも不安なく勤務していけることを分かりやすく伝えた。

静岡地本は、今後も県内の公安系機関と合同で行う採用説明に積極的に参加し、自衛官の魅力とやりがいをPRして志願者の増加に繋げていく。

